

2024年6月5日
NTTアドバンステクノロジー株式会社

ネットワークトラフィック可視化・分析システム「@FlowInspector[®]」機能強化 ～「NetworkBrain」との連携機能を追加して、 トラフィック異常の原因をより早く解決し、運用者の負担を軽減！～

NTTアドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:東京都新宿区、代表取締役社長:伊東 匡)は、ネットワークトラフィック可視化・分析システム「@FlowInspector」(アットフローインスペクター、以下:本製品)に、NTT-ATが提供中のネットワーク可視化/自動化&マップベースマネジメント「NetworkBrain」との連携機能を追加して、2024年秋から販売を開始します。

NTT-ATは、2024年6月12日(水)～14日(金)に幕張メッセで開催される「Interop Tokyo 2024」に本製品を出展し、同展示会のネットワークを構築する「ShowNet」プロジェクトにも参画します。

■「NetworkBrain」との連携機能追加のメリット

リアルタイムにトラフィックを監視する本製品が、ネットワーク構成・パス構成を自動的に生成するNetworkBrainと連携することで、本製品でトラフィックの異常^{*1}を検知した際に、ネットワーク構成・パス構成の表示を自動的に更新させることが可能となります。これにより、ネットワーク構成・パス構成にトラブル発生時の各種情報が表示され、原因箇所の迅速な推測が可能となることで、運用者の負担を軽減し、お客さまの利便性を高めます。

■追加した機能と効果

(1) トラフィック異常に関連するネットワーク構成・パス構成の表示を自動更新

本製品の監視画面に、定期的に自動更新されるNetworkBrainのネットワーク構成・パス構成を表示可能としました。トラフィック監視グラフとともに表示することで、ネットワーク機器やパスの異常^{*2}の原因箇所を早期に特定して、トラブルの短期解決を実現し、運用者の負担を軽減します。

(2) 本製品での異常検知を契機に、NetworkBrainがネットワーク構成・パス構成を自動表示

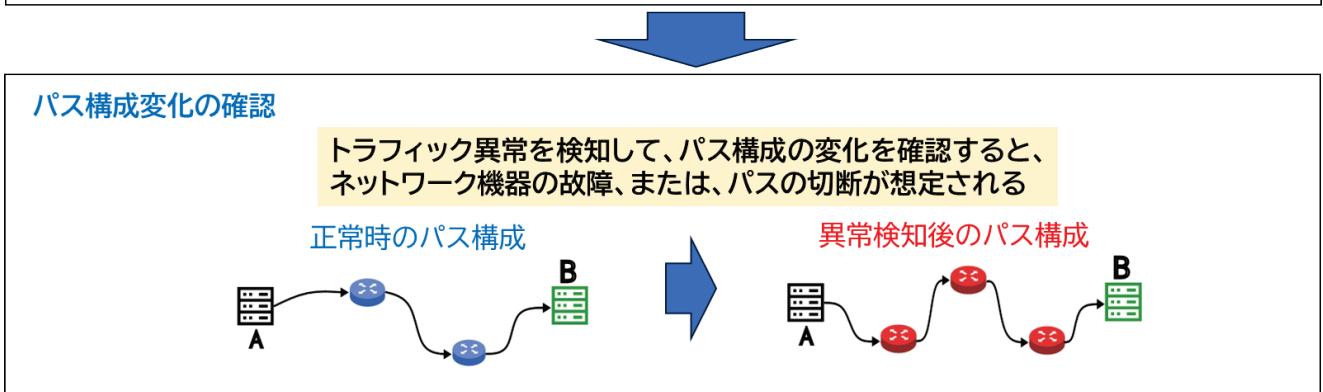
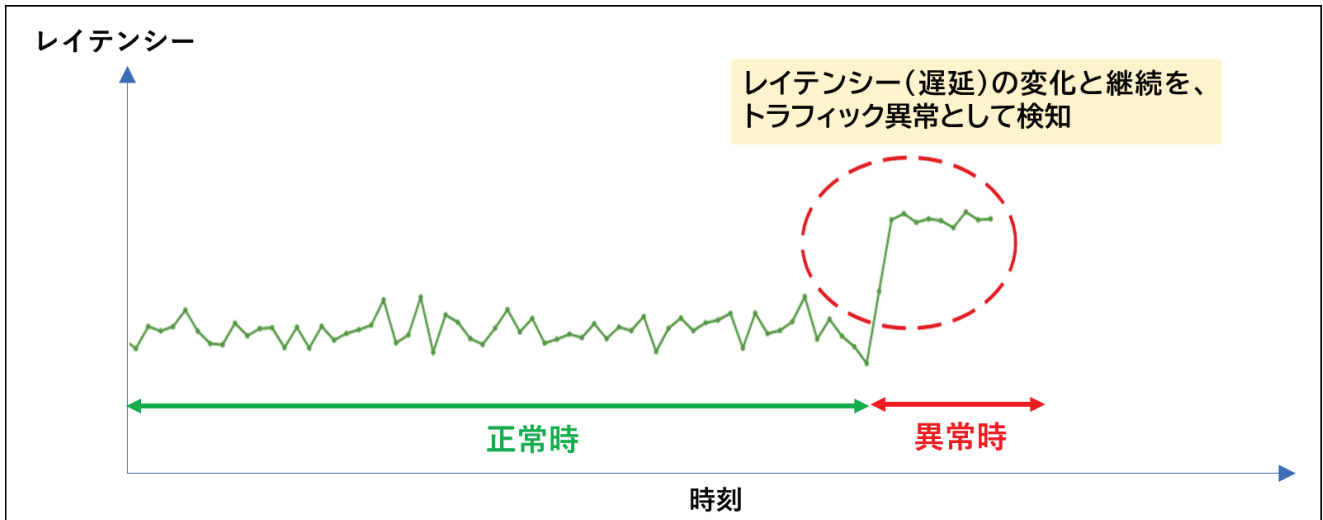
NetworkBrainではルータやスイッチなどのネットワーク機器の設定情報・ステータス情報などを収集し、自動的に生成したネットワーク構成・パス構成に必要な情報を表示する機能を提供します。通常、NetworkBrainでの情報収集は1日に1度などあらかじめ設定された周期で定期的に行われますので、ネットワーク構成・パス構成の更新頻度もそれに準じたものとなります。

今回、本製品の通知機能の拡張としてNetworkBrainへの通知機能を追加しました。これにより、本製品によって検知されたネットワーク異常を契機にNetworkBrainが情報収集し、ネットワーク構成・パス構成を最新化して表示することで、迅速なトラブル対応が可能となります。

*1:パケット数・バイト数・パケット間ジッター・2地点間レイテンシー(遅延)・マイクロバースト・パケットロス等の閾値超えを異常として設定可能

*2:ネットワーク機器の故障、パス切断、ネットワーク帯域不足(混雑や輻輳)、ルーティングの問題等の異常

■運用者による監視例(トラフィック異常⇒パス構成変化の確認)



■販売開始予定

本製品は2024年秋の販売開始を予定しています。

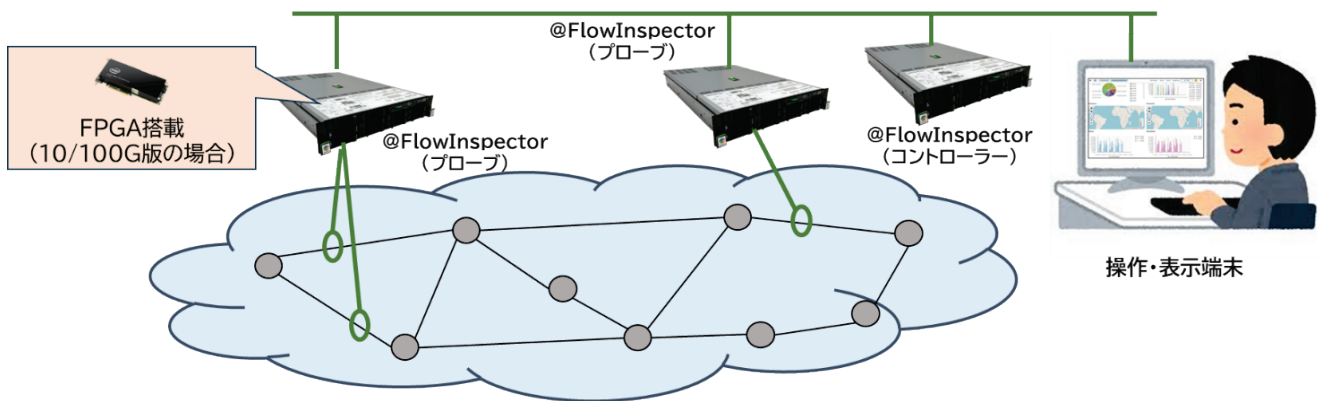
本製品に関する詳細(お見積りや製品デモ、評価版など)については、下記「お問い合わせ先」までご連絡ください。

■「@FlowInspector」とは

独自のモニタリング手法LWPI®(Lightweight Packet Inspection®)を用いたネットワーク監視装置です。LWPIは、パケットの任意のヘッダー情報の組み合わせにより定義したフロー^{*3}に対し、パケット数・バイト数・マイクロバーストなどの計測を可能とする技術で、あらゆるトラフィックを可視化することができます。

パケットを計測するプローブと各プローブからの計測情報を集約するコントローラーから構成され、複数の観測点の監視を集約して統合的に行うことが可能です。各プローブをNTP(Network Time Protocol)・PTP(Precision Time Protocol)により時刻同期させることで広域ネットワークの2地点間のレイテンシー(遅延)が高精度に計測可能となり、遅延要因の特定やパフォーマンスの向上を実現します。また、リアルタイムに監視・画面表示をすることができます。

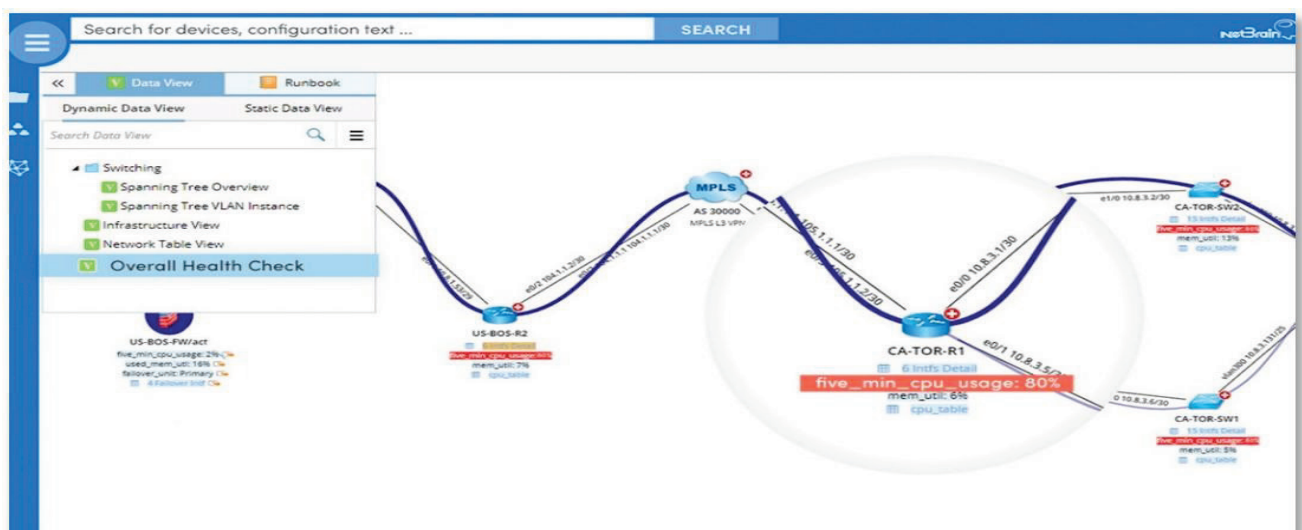
これらの特長を用いて詳細なトラフィック分析を行うことで、ネットワークの安定運用やパフォーマンスの最適化、迅速な問題検出と対策が可能となり、ユーザーの業務効率を大幅に向上することができます。



*3:2地点間の方向性を持ったトラフィックの流れ

■「NetworkBrain」とは

NetworkBrainは、自動で作成されるネットワークマップ(ネットワーク構成・パス構成)上で、ドキュメンテーション・トラブルシューティング・設定変更の自動化を提供します。今まで人手で行っていたネットワークマップの作成作業は自動化され、ネットワーク運用に必要な情報であるコンフィグレーション・ルーティング・ステータス・CLIコマンドの結果がマップ上に可視化されることにより、トラブルシューティングにかかる時間を大幅に短縮します。



■「Interop Tokyo 2024」出展情報

https://www.ntt-at.co.jp/eventseminar/event/2024/detail/e_20240612/

※ 本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

■NTTアドバンステクノロジー株式会社

【商品に関するお問い合わせ先】

IOWNイノベーション事業本部

ネットワーク高度化ビジネスユニット

@FlowInspector 担当

<https://www.ntt-at.co.jp/product/flowinspector/>

【報道関係のお問い合わせ先】

ビジネス推進部

コーポレート・コミュニケーション部門

担当:加藤・根本

